学校と地域のチカラで 子どもたちの未来を育てる

生涯学習課生涯学習係 ☎(63)3498

地域ぐるみで子どもたちを育てる体制づくり

本市では、すべての小・中学校に学校運営協議会を設置し、地域と学校が一緒に子どもたちの未来を考える体制づくりを進めています。全校設置から4年目を迎え、地域の皆様の学校運営への関心や参画意識も高まっています。

一方で地域の担い手の減少や、学校再編に伴う新たな学区での地域づくりなど、いくつかの課題も見えてきました。今後は、より多くの方に関わっていただけるよう人材の発掘・育成を進めるとともに、地域のつながりを生かした安全・安心な学校づくりや、子どもたちの健やかな成長を支える取り組みをさらに充実させていきます。



鹿沼市教育委員会
鈴木 康夫 教育長



学校運営協議会はよりよい学校づくりに向けた話し合う場所

学校運営協議会では、学校の基本方針や課題を共有し、「子どもたちにどのように育ってほしいか」などを話し合ったり、校長と一緒に学校の運営方針について考えたりします。協議会のメンバーは、主に学校・保護者・地域の代表者で、教育委員会から任命されます。学校運営協議会を設置した学校を「コミュニティ・スクール」と呼びます。

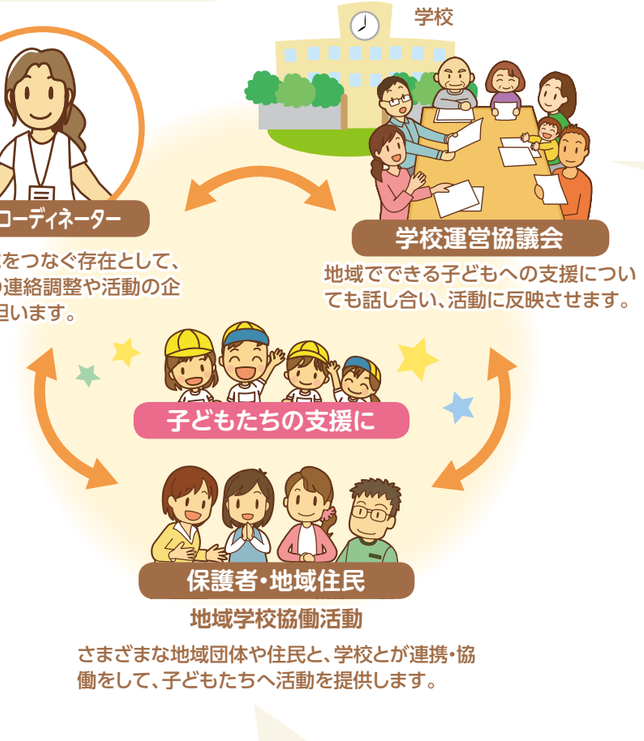
▲委員・教職員・生徒の話し合いの様子

話し合いの内容

不登校の問題や読書離れ、SNSとの付き合い方など、現代の子どもたちの生活に学校や地域がどう関わっていくかを話し合ったり、教職員の負担軽減や学校の環境整備について関係者が皆で一緒に考えたりします。

課題解決を地域のチカラで！

協議会で話し合われたことは、地域のチカラを集結させた「地域学校協働活動」を通して、子どもたちの成長や学びの支えになります。協議会と活動をつなぐ存在として、学校や地域のことを熟知している「地域コーディネーター」の役割も重要です。



会話と笑顔で人がつながる

私の活動のモットーは**「会話を大切に、人と人をつなぐこと」**です。自分1人が完璧なリーダーになる必要はないので、周りを頼りながら「できる人が、できるときに、できることを、無理なく」みんなで楽しくやっています。

地域コーディネーターの役割に正解はありません。**私たちが笑顔で楽しそうにしていれば自然と人が集まってきます。**声を掛けてもらえる関係性、人と人のつながりを作れることは、コーディネーター冥利に尽きますね。



さつきが丘小 地域コーディネーター
奈良部 亜希子さん

市では、学校や地域の実情に応じて連携・協働の輪を広げています。子どもたちは大人と関わることで、**多様な価値観に触れ、社会性も育まれます。**また、**多くの大人に見守られているという安心感**のなかで健やかに成長することができます。

「地域の子どもは地域で育てる」。学校・家庭・地域みんなが子どもたちの先生となり、地域全体が学びの場になります。**子どもたちのために、連携・協働の輪に参加してみませんか。**

地域学校協働活動&コミュニティ・スクールだより「ichigo一笑（いちごいちえ）」はこちら▶

地域から子どもたちへ こんな活動をしています

郷土学習



南摩中 お囃子指導

地域の伝統に触れてもらうことで、将来的に地域へ戻ってきたいと思えるような郷土愛を育みます。

地域行事への参加



粟野中 盆踊り準備

生徒がボランティアとして地域行事へ参加することで、地域の担い手としての意識が高まります。

環境整備



東中 バラボランティア

学校の象徴「バラ園」の美しさを守るため、生徒たちに害虫対策やせん定などの実技を教えます。

見守り



粟野小 あいさつ&交通安全運動

多くの人の協力により、広い範囲の見守りが可能となり、子どもたちが安心安全に通学できます。

放課後支援



南押原小 なかよし先生

下校時間の早い1年生が、高学年と一緒に安全に下校できるよう、待機時間に遊びを中心とした活動を企画・運営しています。

学習支援



西小 家庭科ボランティア

家庭科の手縫いやミシンがけの補助、調理実習など、地域の人が充実した学びの時間を支援します。